

## 札幌学院大学との連携 事業が行われました

7月1日(月)から6日(土)にかけて、札幌学院大学人文学部より3名(臼杵勲教授、学生2名)が、来訪しました。

4年生の平川光一さん、3年生の大條航平さんは、大学連携事業の一環で専門的な知識や技術を習得するために、文化財の業務に従事しました。

今回の来訪では、洲崎館跡で行われている発掘調査と調査で出土した遺物の取り扱いについて学びました。



真剣な眼差しで指導を受ける様子



発掘調査中に笑顔を見せる学生

調査では、慣れない作業にも一生懸命取り組んでいました。

また、上之国館調査整備センターでは、遺物への注記や遺物洗浄を行いました。今回参加した大條航平さんは、「発掘調査の現場が違々と調査の仕方も違うため、新鮮で面白かった。今後に繋がる貴重な経験だった。」と話していました。

## 上ノ国小・河北小 合同修学旅行で青森へ

7月4日(木)、5日(金)の二日間にわたり上ノ国小・河北小の6年生計25名が修学旅行で青森県を訪れました。

初日は木古内駅から新幹線に乗って青森県へ。津軽藩ねぶた村では太鼓体験を行いました。その後は弘前城を見学し、それぞれの班に分かれて、自主研修として弘前市内を巡りました。

二日目は青森市の浅虫水族館を訪れ、ダイナミックなイルカショーを楽しみました。その他、むつ湾を再現したトンネル水槽などを

観賞し、アブラツノザメやオオカミウオなど青森ならではの魚を見ることができました。

その後は、ねぶたの家ワ・ラッセや三内丸山遺跡などを見学し、縄文時代から現代に至るまでの青森の自然や歴史・文化を学ぶことができました。

この二日間を通じて、北海道とは異なる文化や風土に触れることができたほか、両校がともに行動し交流を重ねたことで、互いの親睦が深まった修学旅行になりました。

みんなで記念に

ハイチーズ！



## 令和6年度少年の主張檜山 地区大会に参加しました

6月28日(金)にせたな町で開催された『令和6年度少年の主張檜山地区大会』に上ノ国中学校3年生の山内理央さんと半田琴愛さん2名が出場しました。

山内さんは「本当に大切なもの」、半田さんは「いただきます」の題名で発表を行いました。二人とも大きな声でしっかりと自分の主張をしていました。

おしくも檜山地区の代表には選ばれませんでしたでしたが、二人とも、大変素晴らしい主張でした。



半田琴愛さん



山内理央さん

## 図書だより

- \* カフネ
- \* 告白撃
- \* 娘が巣立つ朝
- \* クスノキの女神
- \* 海を破る者
- \* 春のとなり
- \* 終活シェアハウス
- \* 笑う森

- 阿部 暁 子／著
- 住野 有 喜／著
- 伊吹 圭 吾／著
- 東野 圭 吾／著
- 今村 祥 吾／著
- 高瀬 乃 一／著
- 御木本 あかり／著
- 荻原 浩／著

## 図書新着ごあんない

- \* 町なか番外地 小野寺 史 宣／著
- \* 愚か者の石 河 崎 秋 子／著
- \* ドクター・デスの再臨 中 山 七 里／著

\* 読みたい本のリクエストや予約などは  
電話でも受け付けております。

\* 申込先 教育委員会内・町民図書室  
☎0139-55-2230